

みえ家庭教育応援プランの概要

第1章 プラン策定の基本的事項

- 家庭教育のあり方についての基本方針を示すとともに、今後家庭教育の充実に向けて講じることが望ましい取組方策を示すもの
- 期間は、おおむね10年先を見据えた、今後5年程度

第2章 現状と課題

社会の現状と課題

不安感や孤立感のある親への社会的なサポートが必要

- 子どもの数の減少傾向
- 地域のつながりの希薄化
- 児童虐待の増加
- 子育てやしつけに関する保護者の悩み
- 支えを必要とする家庭

子どもの現状

継続的に様々な体験や人とのふれあいが必要

- 生活習慣の定着への課題
- 多様なメディアとの関わりが増加
- 外遊びや体験活動の機会の減少
- 他者との交流機会の減少

家庭を取り巻く地域、学校等、企業、行政などが一体となって多様な家庭を支えていく必要

第3章 基本的な方向性

家庭教育とは「子どもが自らの力を発揮して育つことができるよう、保護者が子どもに対して行う教育」

基本理念

子どもたちの豊かな未来の実現に向け「子育ての喜び」を共に育む家庭教育応援の取組を家庭の自主性を尊重するという基本姿勢のもと社会全体の「つながり」の中で進める

めざすべき姿

- 一人ひとりがかけがえない存在である子どもたちが、その可能性を最大限に発揮できるよう、さまざまな経験や体験、人との関わり等を通じて豊かに育っている。
- 保護者が、多くの人との関わり合いの中で、子育てに喜びや希望を感じ、またそのことを通じ成長し、自分自身の人生を豊かなものに行っている。
- 社会全体で家庭を支える気運が醸成され、家庭教育の応援に向けた多様な取組が積極的に進められている。

基本方針

- 1 保護者と子どもの学びの応援
- 2 多様な主体で家庭を支える取組の充実
- 3 家庭教育を応援する体制づくり

取組の視点

- 1 切れ目のない応援
- 2 地域の特徴や家庭の実情に応じた応援
- 3 既存の取組の活用

第4章 取組方策

- ① 幅広い学習機会や情報の提供
- ② 学習コンテンツの充実
- ③ 子どもの習慣づくり
- ④ 次代の親としての学びの推進
- ⑤ 多様な主体の連携による活動の促進
- ⑥ 社会全体で家庭を支える気運の醸成
- ⑦ 応援のための基盤づくり
- ⑧ 県、市町、学校等の連携強化
- ⑨ 人材の養成
- ⑩ 相談体制の充実

家庭教育応援プロジェクト

本戦略を効果的に進めるため、横断的・総合的取組として展開

- テーマ1 みんなで進めよう！子どもの基本的な生活習慣づくり
- テーマ2 つくろう！家庭教育を応援する地域のネットワーク
- テーマ3 応援しよう！企業と連携した家庭の教育力アップ

第5章 プランの推進にあたって

- 家庭・地域・学校等・企業への期待、行政の役割
- 県と市町との役割分担
- 庁内の役割分担・連携 → 関係部局が相互に連携し、切れ目のない家庭教育応援取組を効果的に展開